

音声障害に対する評価・訓練法 基礎から最新トピックス

講師 佐藤 剛史 先生
(東北大学医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科)



言語聴覚士なら必ず治療する音声障害ですが、今一步臨床に手ごたえを感じていない方やどこまでを目指すかゴールに悩む方も多いのではないのでしょうか？音声障害は、喉頭疾患、神経疾患、筋疾患、呼吸器疾患すべてにおいて生じます。例えば、反回神経麻痺の方が来られた時、どんな音声治療をされますか？GRBASは正確に記述できますか？治療マネジメントや医師をはじめとした他職種との協働したアプローチはどのように行われますか？本オンラインセミナーでは、そんな疑問にお応えしようと、音声障害治療のプロフェッショナルをお招きして、音声障害に対する臨床のキホンからアドバンスまでご講義頂きます。普段疑問に感じていること、技能を高めたいと感じていること、多くの疑問を解決できるセミナーです。ご参加をお待ちしています。

3/7 発声に関連した構造機能 (金)

養成校時代に学んだ構造機能ですが、臨床を始めてその重要さに気づくことが多いのではないのでしょうか。まず、発声に関連した構造と機能を今一度学び、何をどこまで知っているか音声治療に十分なのか復習をします。

3/14 音声障害の症状 (金)

音声障害の症状は様々です。声質の変化、声域の変化、声量の変化、声を出すときの心の変化などなど。どのような症状があるかや、器質的变化、機能的变化と症状との関係など、音声障害の症状を理解いただきます。

3/21 音声障害の評価 (金)

音声障害の評価について学びます。聴覚印象評価、質問紙法、機器を用いた評価など、音声や関連機能の評価について目的や選択方法等を具体的に解説し臨床で活用いただけるようにします。

3/28 音声障害の訓練 (金)

音声障害の訓練は、声帯へのアプローチ、喉頭運動に対するアプローチ、呼吸へのアプローチ、総合的アプローチなど種々の訓練が考案されています。エビデンスや具体的手技の解説も含め臨床力をもう1段階あげるポイントを学びます。

ホームページ



- 参加費 1 講座につき 当研究所会員 1,000円
会員外 3,000円
- 申込方法 右記のQRコードからお申し込みください。
- 詳しくはHPをご覧ください。
<https://fc-science.or.jp/guide7.html>

お申し込み

